



遷喬小だより

4月号⑤

学校教育目標 **自ら未来を拓き 心豊かに たくましく生きる子どもの育成**学校スローガン **TEAM遷喬 PRIDE遷喬 ~子どもも 教師も 地域も 伸びる学校~**

新型コロナウイルスに関して 子どもたちに 伝えたこと

4月25日(月)朝の学年集会の時間を活用して、校長から子どもたちに、新型コロナウイルスに関しての話をしました。

目的としては、再度、緊張感をもって、健康管理、人権意識を高めることです。

- ① 誰が感染者か特定しようとしたり、噂話を流したりしても、何の解決にもならない。
- ② 今まで通り、感染予防に努める。

3密を避ける(密閉→換気 密集→分散意識 密接→ソーシャルディスタンス)
手洗い・うがい・マスク着用 アルコール消毒 等

保護者の皆様にも、子どもたちに話したことを知っていただくとともに、明日からのGW、皆様が健康に過ごせるようにと願っています。

今年度も 新型コロナウイルスへの注意は変わりません。

遷喬小学校でも、陽性になったり、濃厚接触者になったりする人が出ています。

去年もそうでしたが、今まで通り、新型コロナウイルスに感染した人や、濃厚接触者になった人が、つらい思いをしないように、温かく優しい遷喬小の子どもでいてほしいと思います。

そこで、よくわかっていると思いますが、大事なことを確認します。

遷喬小でいつも言い続けていることは、「**岡山県一、一人一人を大切にする学校**」だということ、「**人の心も体も傷つけない**」ということ、「**新型コロナウイルスを正しく恐れる**」ということです。

お家の人から聞いた話やニュースで聞いた話などを言いふらさないようにしてください。みんながいろんなことを周りの人に言うことで、言われて嫌な思いをする人がどこかにいるかもしれないということを考えてほしいのです。新型コロナウイルスは、どんなに注意をしても、いつ誰が感染してしまうか、わからない状況です。「〇〇さんが感染したんだって。」「〇〇さんは濃厚接触者らしいよ。」などと自分が言われたらどうですか。自分の知らないところで自分についてのことや友達のことを悪く言われたら、悲しいでしょう。

メールやラインなど SNS で情報を流すことも同じです。人の知らないところで興味本位で情報を流したり、受け取ったりして、探ったりすることがどんなによくない影響を及ぼすことになるか考えてみてください。

そんなことを言いふらすことで、コロナウイルス感染症がおさまるはずもなく、今、病気になっている人たちやその周りの人たちをもっと悲しい気持ちにさせるだけです。もし、周りでそんな悲しい噂を聞いたら、先生に教えてください。

自分たちにできることは、病気になった人がよくなって、安心して元通りの生活を早く送ることができるように願うこと、そして、手洗い・うがい・マスクなど感染予防をしっかりとすることが大事です。

3密を避ける

密閉→しっかり換気をする。

密集→一つのところに何人も集まらない。

密接→ソーシャルディスタンスをしっかりとる。

手洗い・うがい・マスクやアルコール消毒をしっかりとる。

マスクを外すときが、一番気をつけなくてははいけません。

給食・歯磨きは、だまってしてください。

体育の着替えのときも できるだけマスクをつけたままですが、どうしてもマスクを外すときは、おしゃべりをせずに着替えましょう。

休み時間、外で遊ぶときや体育の時間も、熱中症対策のために、マスクを外すときは、友達との距離に気をつけ、ソーシャルディスタンスをしっかりととりましょう。

お家に帰ってからも、友達と遊ぶときも、手洗い・うがい・マスクなど、今できることをしっかりとしたり、お家の人と話をしたりして、自分も友達も家族も大切にしてください。

「人権の花」運動 贈呈式

美化ボランティア委員会の皆さんが代表して、花の種や花の土、スコップ、ジョウロ、プランター、指定校看板を受け取りました。

贈呈式には、法務局、人権擁護委員、真庭市職員の7名の皆さんがおいでくださいました。

本校のキーワードの一つが「岡山県一、一人一人を大切に作る学校」です。

花にも一輪一輪、個性があり、命があります。

毎日、丹精込めて花の世話をすることで、思いやりの気持ちを育ててほしいと思います。

